

情報連絡員総括表（2025 年 3 月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月の DI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

・ 本調査の見方 ・

◎売上高等の 9 項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

DI 値＝〔(好転組合数－悪化組合数)／調査対象組合数〕×100

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ±0.0(＝横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 56 名：回収率 93.3%）

○2025 年 3 月の DI 値（全体）は、前月との比較において、「売上高」「在庫数量」の 2 指標が悪化し、「設備操業度」の 1 指標が不変、その他 6 指標が改善した。改善傾向を示す指標が多く、特に「収益状況」は、依然 DI 値はマイナスを示しているものの、2025 年に入り 3 ヶ月連続で改善傾向を示している。しかし、「売上高」は 2025 年に入り初めてマイナスを記録しており、厳しい状況にある。

○「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」の 1 指標が悪化し、「販売価格」「設備操業度」「業界の景況」の 3 指標が不変、その他 5 指標が改善した。「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の 3 指標は対前月比で 10 ポイントを超える改善を示している。「パン」業界では、2025 年に入り対昨年度比を上回る状況が続いている。一方で、米国の関税引き上げを懸念する声も挙がっていた。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」の 4 指標が悪化し、その他 4 指標が改善した。改善傾向を示す指標は、多かったものの「売上高」は前月比で DI 値が「マイナス 21.9 ポイント」を示すなど厳しい状況にある。「道路旅客」業界では、諸物価の高騰により外出を控える動きが広がり、運送収入の減少が顕著となっている。2024 年 8 月以降は回復傾向も見られず、依然として回復の兆しが見えない状況にある。

(DI 値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2025年3月	-3.5	-9.6	30.3	-7.2	-17.9	-14.3	-24.1	-5.4	-32.2
2025年2月	3.4	-16.2	27.6	-8.6	-22.4	-20.7	-24.1	-12.1	-34.5
増減	-6.9 ↓	6.6 ↓	2.7 ↑	1.4 ↑	4.5 ↑	6.4 ↑	0.0 -	6.7 ↑	2.3 ↑

2.項目別の前月・今月の DI 値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI 値	増減		DI 値	増減		DI 値	増減		DI 値	増減		
売上高	2025年3月	10.3	6.9 ポイント	↑	-18.5	-21.9 ポイント	↓	-3.5	-6.9 ポイント	↓	3.4	-3.4	6.6 ポイント	↓
	2025年2月	3.4			3.4			3.4						
在庫数量	2025年3月	-3.4	13.8 ポイント	↓	-23.1	-8.8 ポイント	↑	-9.6	6.6 ポイント	↓	-16.2	-16.2	6.6 ポイント	↓
	2025年2月	-17.2			-14.3			-16.2						
販売価格	2025年3月	24.2	0.0 ポイント	-	37.0	5.9 ポイント	↑	30.3	2.7 ポイント	↑	27.6	27.6	2.7 ポイント	↑
	2025年2月	24.2			31.1			27.6						
取引条件	2025年3月	-3.4	3.5 ポイント	↑	-11.1	-0.8 ポイント	↓	-7.2	1.4 ポイント	↑	-8.6	-8.6	1.4 ポイント	↑
	2025年2月	-6.9			-10.3			-8.6						
収益状況	2025年3月	-13.8	17.3 ポイント	↑	-22.2	-8.4 ポイント	↓	-17.9	4.5 ポイント	↑	-22.4	-22.4	4.5 ポイント	↑
	2025年2月	-31.1			-13.8			-22.4						
資金繰り	2025年3月	-13.8	13.8 ポイント	↑	-14.8	-1.0 ポイント	↓	-14.3	6.4 ポイント	↑	-20.7	-20.7	6.4 ポイント	↑
	2025年2月	-27.6			-13.8			-20.7						
設備操業度	2025年3月	-24.1	0.0 ポイント	-				-24.1	0.0 ポイント	-	-24.1	-24.1	0.0 ポイント	-
	2025年2月	-24.1						-24.1						
雇用人員	2025年3月	-3.4	10.4 ポイント	↑	-7.4	3.0 ポイント	↑	-5.4	6.7 ポイント	↑	-12.1	-12.1	6.7 ポイント	↑
	2025年2月	-13.8			-10.4			-12.1						
業界の景況	2025年3月	-27.6	0.0 ポイント	-	-37.0	4.4 ポイント	↑	-32.2	2.3 ポイント	↑	-34.5	-34.5	2.3 ポイント	↑
	2025年2月	-27.6			-41.4			-34.5						

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
食 料 品	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0
織 維 工 業	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	2
木 材 ・ 木 製 品	1	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	2	0	2	0	1
紙 ・ 紙 加 工 品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
印 刷	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
窯 業 ・ 土 石 製 品	2	0	1	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
鉄 鋼 ・ 金 属 工 業	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	2
一 般 機 器	1	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	2	0	0	0	2
電 気 機 器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
輸 送 用 機 器	2	2	0	1	1	1	0	1	2	2	0	2	1	2	1	0	0	1
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸 売 業	1	2	1	1	1	0	0	1	1	2	1	1			1	1	0	2
小 売 業	0	3	0	2	3	1	0	2	0	5	0	3			0	1	0	3
商 店 街	0	3	0	1	2	1	0	2	0	1	0	2			0	1	0	2
サ ー ビ ス 業	4	0			3	0	1	1	3	1	1	0			2	0	2	1
建 設 業	1	1			1	0	1	0	1	0	0	0			0	2	0	2
運 輸 業	0	2			2	0	1	0	0	2	0	0			0	0	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

パン	・春休みもあり、3月は例年売り上げが伸びる月である。今年に入り少しずつ昨対をクリアしてきている状況である。
印刷	・値上げができるか否かが今後に大きく影響を及ぼすと認識。どこまで実行できるか。
骨材・石工品	・売上高が前年同月より減少した為、収益状況も悪化した。在庫数量は増加傾向。全体として厳しい状況が続いている会社がある。
金属	・4月からの電気料金の変更状況に少し不安材料がある。
生産用機械器具	・不安定な状況が続く、改善すると思うと停滞が現れ、なかなか状況が改善しない。
電気機械器具	・白物家電の2月の業界統計では、国内出荷金額は5か月連続のプラスとなった。冷蔵庫は4か月連続のマイナス、ルームエアコンは西日本の気温の低さ等による需要増もあり5か月連続のプラスだった。 ・3月の生産実績は、販売低迷が続く冷蔵庫はマイナスとなったが、家庭用・業務用エアコンは寒さと年度末の影響によりプラスとなった。米国の関税引き上げが、増加していた業務用エアコンの米国向け輸出にどのような影響が出るか注視している。
輸送用機械器具	・自動車関連部品のサプライチェーンでは、トランプ関税について様々な対応協議を行っており、米国生産を増やせるものについては米国生産増を対応策とする一方で、米国生産の出来ない部品について当面はメーカーが関税負担を軽減するようなことも検討している。そのような政策を半年以上続けることについては、慎重な構えある。対応策はそれぞれ実施しながら関税政策の推移を見守っていく対応であるらしい。

非製造業

セメント	・価格改定に伴う組合員の一部在庫積み上げにより、3月出荷は前年同月比12%増加したが、通期では3%程度の減少となった。袋セメントの仕入れ価格・販売価格の引上げを4月より実施する。
鮮魚	・消費マインドの低下が続いており来客数は伸び悩んだが、売上は価格改定等の動きにより客単価が上昇し昨年並みとなった。価格転嫁はまだまだの様子。収益状況についても改善までには至っていない。原材料・人件費も更に上昇することが予想され、業界を取り巻く厳しい状況は今後も続くものと思われる。
野菜・果実	・青果物の価格は全体的に落ち着いたが、例年に比べれば依然として高値で推移している。
宿泊	・3月については、早い段階から好調に予約が入ってきた。 ・引き続きインバウンドが好調に推移した。各種コストアップへの対応が今後の課題。
総合工事	・いい感じで期末を迎えることができたが、今期に向けて不透明感が強く感じられる。物価の高騰も続く中、見直し案件が増えており工事がストップしている。上記の要因が、案件の減少の原因となっている。
職別工事	・期末もあり、仕事量及び新規案件が減少気味で、上位発注者の価格競争が始めている模様。案件ごとに相見積もりも始めている様子。何とか踏みとどまり、処遇改善をめざす。
道路貨物	・運送業の倒産件数は前年同月比で減少傾向であった。燃料費の安定や価格転嫁の進展が一定の支えとなり、中堅企業を中心に経営の安定が見られた。一方で、中小規模の運送業者には依然として厳しい状況が続いている。人手不足や働き方改革の影響で運行コストが上昇し、利益率の低下が懸念されている。令和7年4月1日から施行される改正貨物自動車運送事業法に向けて、業界全体で取引環境の適正化や労働環境改善に向けた準備が進められている。
道路旅客	・2月の運送収入は前年同月を1.6ポイント下回り、コロナ禍以降初めてマイナスになった。昨年はうるう年のため稼働日数が1日多かった影響もあるが、昨年8月以降回復傾向は明らかに頭打ちになっている。諸物価が高騰を続ける中で、外出を控えようとする動きが懸念される。

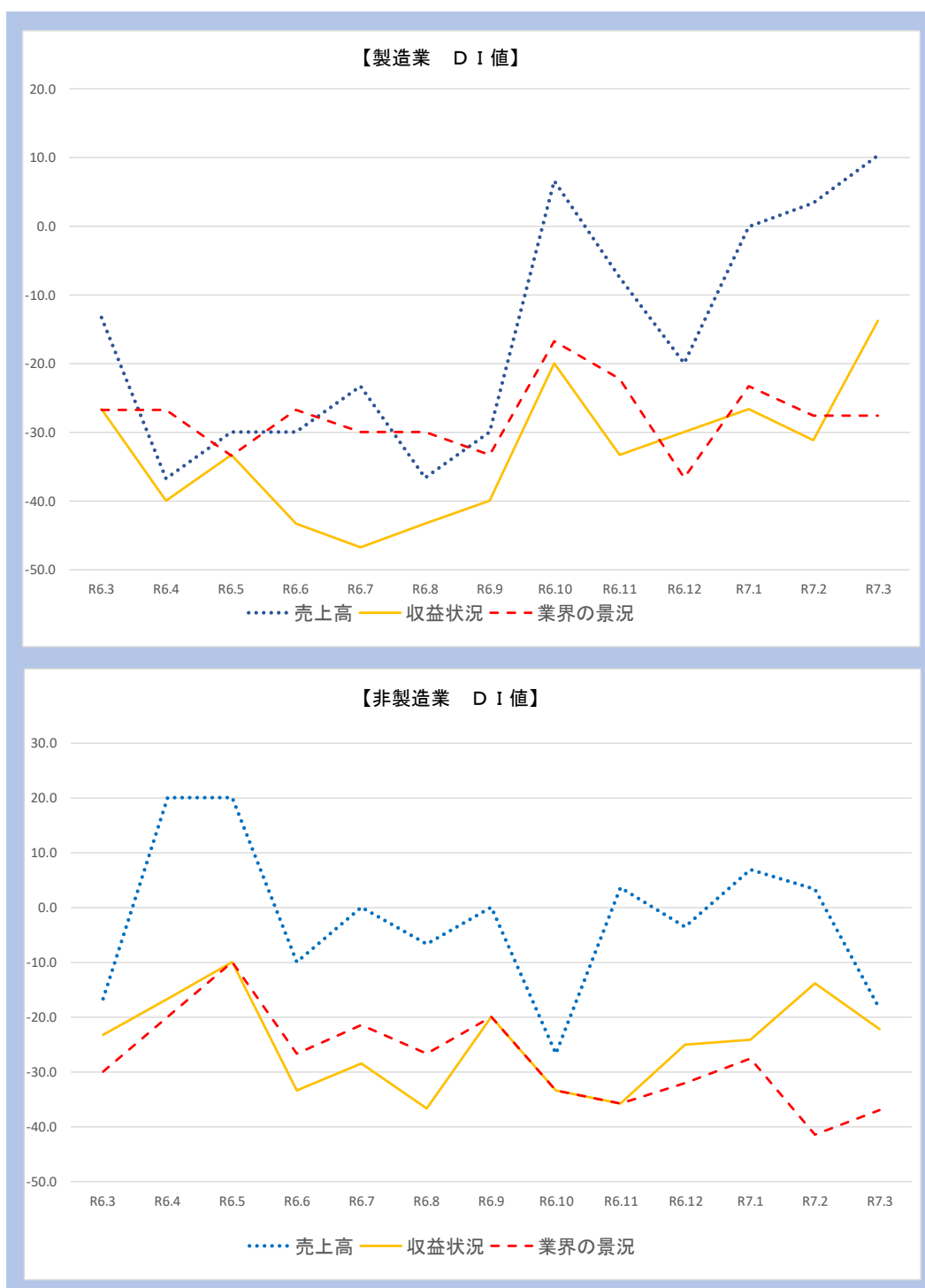
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2024年3月期～2025年3月期までの推移

全体	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
売上高	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7	-15.0	-10.0	-1.8	-12.1	3.4	3.4	-3.5
収益状況	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0	-30.0	-26.6	-34.5	-27.6	-25.4	-22.4	-17.9
業界の景況	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3	-26.7	-25.0	-29.1	-34.5	-25.4	-34.5	-32.2

製造業	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
売上高	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0	3.4	10.3
収益状況	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6	-31.1	-13.8
業界の景況	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3	-27.6	-27.6

非製造業	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
売上高	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9	3.4	-18.5
収益状況	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1	-13.8	-22.2
業界の景況	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6	-41.4	-37.0



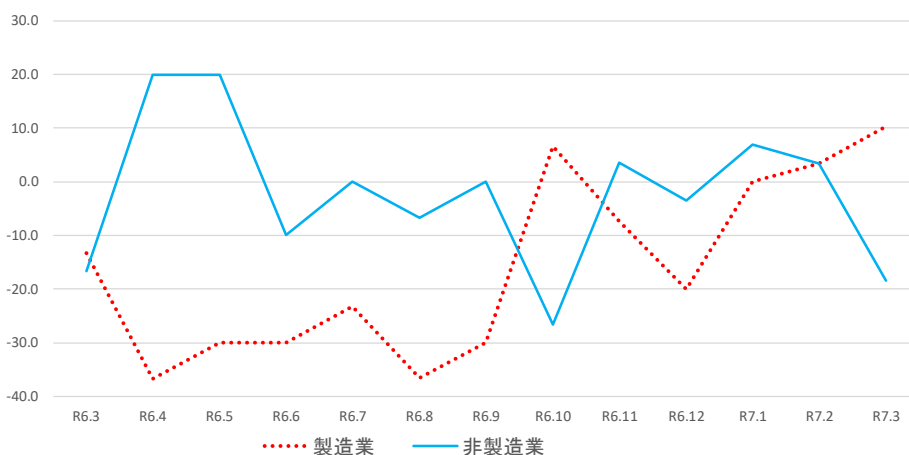
■2024年3月期～2025年3月期までの推移

売上高	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
製造業	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0	3.4	10.3
非製造業	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9	3.4	-18.5

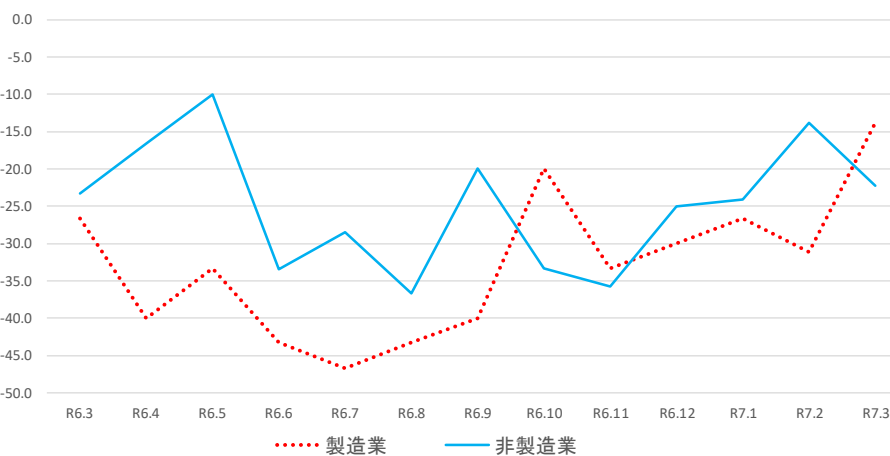
収益状況	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
製造業	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6	-31.1	-13.8
非製造業	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1	-13.8	-22.2

業界の景況	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
製造業	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3	-27.6	-27.6
非製造業	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6	-41.4	-37.0

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値】

